緊急情報／防災情報

平成25年12月19日14時00分発表
阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会上流支局

本宮市糠沢地区で小魚のへい死（第2報）

17日、福島県本宮市糠沢地内の仲川で小魚のへい死が見られましたが、その後の調査において、本宮市和田地内の上流区間約1．3kmにかけても、小魚のへい死が確認されました。へい死した小魚は、河川管理者（福島県及び本宮市）において回収しました。
原因については引き続き調査中ですが、水質分析の結果、現在のところ人間の健康に被害を与える様な物質は検出されておりません。なお、水質汚濁の指標の一つであるCOD（化学的酸素要求量）が、16日には130mg/Lと高い値を示しましたが、17日13時には正常値(5.1mg/L)に戻っています。

1．へい死の状況

・へい死が見られた場所
　一級河川 仲川（本宮市糠沢地内～本宮市和田地内）の約２ｋｍ区間
・へい死した魚の数
　小魚：約６００匹
・へい死の原因
　調査中

2．現在の対応について

17日　9:15　災害対策支部【注意体制】を設置。
　　11:00　阿武隈川合流点にオイルフェンスを設置完了。
・へい死があった箇所から阿武隈川合流点にかけて河川管理者（国・県）において河川巡視を実施。
・下流利水者への連絡を実施。
18日 15:30　へい死した小魚を約600匹回収。（福島県:約300匹、本宮市:約300匹）
・河川管理者（国・県・市）において河川巡視を実施。
・河川管理者（国・県）において河川の監視を継続中。

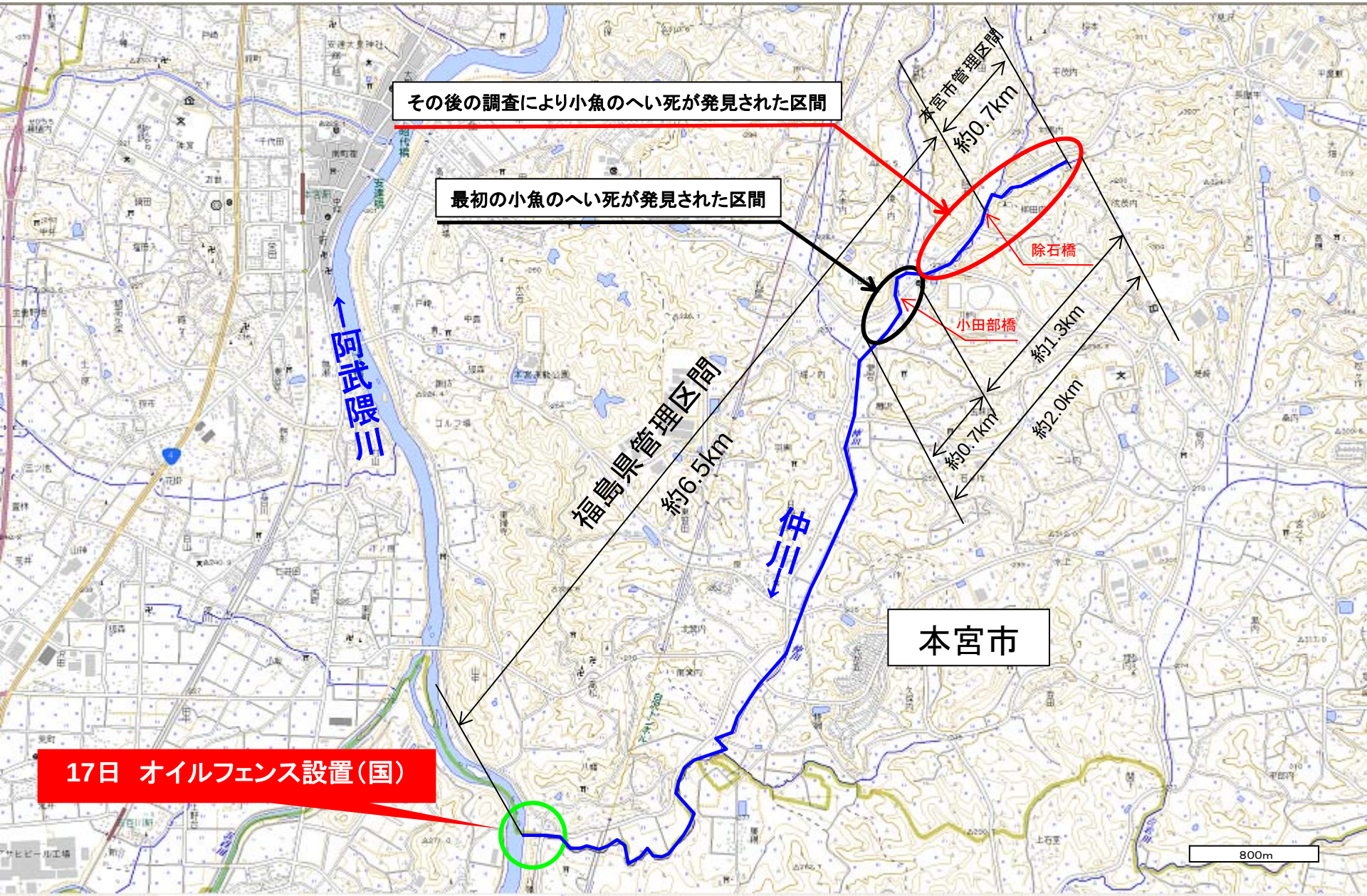
阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会上流支局では、12月16日から水質調査を実施中しており、現在のところ、人間の健康に影響を与える物質は検出されておりません。（18日採水分は現在分析中）

原因については調査中ですが、16日に発生した車の横転事故によって流れ出した化学物質（住宅断熱発泡材の原料）の影響も考えられることから、原因者が、再度、道路側溝等から回収作業を行う準備をしております。

※魚の死骸等を発見された場合は、下記に連絡をお願いいたします。
＜＜発表記者会：福島県政記者クラブ、郡山市記者クラブ、福島市市政記者会＞＞

【問い合わせ先】
阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会上流支局事務局
国土交通省 福島河川国道事務所 河川管理課
TEL 024-546-4331（代表）
副所長（河川）　畠山（はたけやま）　浩晃（ひろあき）（内204）
河川管理課長　宍戸（ししど）　善博（よしひろ）（内331）

位　置　図


その後の調査により小魚のへい死が発見された区間
最初の小魚のへい死が発見された区間
本宮市管理区間
約0.7km
除石橋
小田部橋
約1.3km
約0.7km
約2.0km
福島県管理区間
約6.5km
阿武隈川
仲川
本宮市
17日　オイルフェンス設置（国）
800m

へい死した小魚の回収状況

へい死が確認された区間

本宮市糠沢地内（一級河川 仲川：福島県管理区間）から本宮市和田地内（普通河川：本宮市管理区間）

へい死の状況（仲川）



へい死した小魚



回収状況

